

自動車事故報告書の記載例

報告書は4部提出すること

報告書の提出時点の
大臣名を記入する

国土交通大臣 □□ □□ 宛て

〇〇運輸株式会社

本社の住所、
電話番号、
代表者を記
入する☆マークは記入の要のない場合は斜線
を引くこと◆マークは、第2条11項、12項(車両
故障等)の場合は、記入不要

自動車の使用者の氏名又は名称

代表取締役 〇〇 〇〇

住 所 神奈川県〇〇市〇〇1-2-3

電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇

令和 〇 年 〇〇 月 〇〇 日 提出

24時間制で記入する

事故発生から
30日以内に
提出する

☆発生日時 令和 5 年 1 2 月 1 2 日 2 1 時 3 0 分

天 候 1 晴れ 2 曇 3 雨 4 雪 5 霧 6 その他

☆発生場所 神奈川県 〇〇 市 〇〇 町 〇〇 〇〇 〇〇 番地

☆路線名
又は
道路名

国道 4 号線

・道路名は国道、
県道、市道等具
体的に記入する
・高速道路等の
場合はその名称
も記入する
・高速道路の場
合は「上り」「下
り」の区分、
〇〇kpを記入す
る

☆当該自動車の使用の本拠の名称及び位置

わかる範囲で詳細に記入する

☆自動車登録番号
又は車両番号〇〇運輸株式会社 〇〇営業所
神奈川県〇〇市〇〇町〇〇番地・営業所名まで記入する
・営業所の住所を記入する

横浜 1 0 0 あ 〇 〇 〇 〇

横浜 1 0 0 あ 〇 〇 〇 〇

下段はトレーラの
ナンバーを記入す
る

☆当時の状況

当該営業所の運転者〇〇は、1 2 月 1 2 日 6 時に出勤し、日常点検を実施後、運行管理者（補助者）〇〇の乗務前点呼を
6 時 3 0 分に受け、積み込み先の●●に向け 7 時に出庫した。8 時に●●に到着し荷物を積み込み、9 時に埼玉県〇〇市
へ向け出発した。その後、上記場所付近の片側一車線の国道 4 号線を約 7 0 キロで走行中、赤信号で停車していた乗用車
3 台の列に追突した。

当該運転者にケガは無かったが、最初に追突した乗用車の運転者（男性 6 4 歳）が右足大腿骨の骨折の重傷を負い、〇〇
病院に搬送され、現在も入院中。さらに前の乗用車の運転者（女性 3 8 歳）が首に軽傷を負った。

☆◆現場の略図（道路上の事故の場合には車線の区分を明らかにして図示すること）

・事故当日の当該運転者に関する時間的な経過（出勤時間、点呼時間、出庫時間、目的地
発着時間等）の詳細を記入する・事故発生時の状況（時間、場所、速度、交差
点の有無、信号の有無、車線、標識等）の詳
細を記入する・事故に関する車両、乗員の情報（乗車人数、
ケガの程度、年齢、性別、治療に要する期間、
入院先等）について可能な限り詳細に記入す
る

☆当時の処置

当該乗務員は被害者の様子を確認し、至急消防と警察に連絡した。
その後、被害者は病院に搬送された。当該運転者は警察の取り調べを
受けるため、〇〇警察署に移動した。
積荷は代替車両に積み替え配送した。

・警察、家族、会社等へ
の連絡状況
・負傷者等にとった措置、
病院への収容状況
・旅客、積荷等の措置
等の内容を記入する

☆事故の原因

左前方の中古車販売店の展示車両に気をとられ（脇見運転）、
前方停止車両の発見が遅れたこと及びスピード超過。

☆再発防止
対 策

乗務員全員を集め、脇見運転防止及び速度遵守等について
改めて教育を行い、法令遵守の再徹底を行った。

警察の調査、運転者や
目撃者の証言等を参
考に記入する

※備 考

停留所発車における車内事故の場合のみ以下の内容を記入し、それ以外は記
入しない。・負傷した乗客の着座の状況（着座前又は着座後の発車）
・負傷した乗客のつり革、手すりの使用等、体の保持状況・事業者として講じた対策を
具体的に記入する
・事故の原因に対応したもの
になっているか確認すること

規格 A 列

① 発生した事故の種類の区分番号を○で囲む。
(2種類以上の事故が発生している場合は、最も大きな被害が発生した事故の種類を○で囲むこと。)
※事故の区分について
「衝突」：自動車、原動機付自転車等又は家屋その他の物件等と衝突又は接触したとき
「死傷」：「衝突」又は「車内」以外により死傷者を生じたとき(自転車、歩行者を撥ねたとき等)

② 道路からの落差が0.5m以上の場合記入する。

③ ①で「衝突」を含む場合のみ記入する
正面衝突：相手方と対面して衝突した場合
側面衝突：相手方と対面又は同方向以外に進行して衝突した場合
追突：相手方と同方向に進行して衝突した場合(接触に該当する場合を除く)
接触：相手方と並進中又は追い抜き等の際に接触した場合
物件衝突：自動車等以外と衝突した場合

・当該自動車の大部分が位置していた場所
・重複する場合は該当の箇所

当該自動車を運転する事ができる資格を得たときからの運転経験

当該自動車の運転者が負傷した場合記入する

④ 路肩を含む道路の総幅員(歩道は含まない)

⑤ 警戒標識が設置されている箇所において事故が発生した場合は「有」、設置が無ければ「無」を○で囲む
例

当該運行に係る点呼を実施した運行管理者(補助者の場合は統括管理者を記入)

事故発生後24時間以内に死亡した場合は「死亡」、24時間を超えた場合は「重傷」とすること

事故の種類	①	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
	区分	転覆	転落	路外逸脱	火災	踏切	衝突	死傷	危険物等	車内	飲酒等	健康起因	救護違反	車両故障	交通障害	その他	
	☆発生順						1										
	☆転落の状態	落差	②														
	☆衝突の状態	1 正面衝突	③	2 側面衝突	3 追突	4 接触	5 物件衝突										
	☆車名	☆型式	☆車体の形状	☆初度登録年又は初度検査年													
	〇〇	ADG-DC125															
	〇〇	EF12345															
	事業用	1 乗合旅客	2 貸切旅客	3 乗用旅客	4 特定旅客	5 一般貨物(イ特別積合せ貨物)	6 特定貨物	7 特定第二種	8 貨物軽(四輪)	9 貨物軽(三輪以下)							
	1 有償貸渡(レンタカー)	2 有償旅客運送	3 その他														
種別	① 普通	2 小型	3 その他														
当該自動車の概要	☆乗車定員	2 人	☆当時の乗車人員	1 人													
	☆最大積載量		☆当時の積載量														
	39,200(9,500) kg																
	29,000 kg		28,000 kg														
	安全運転支援装置	衝突被害軽減ブレーキ	① 有	2 無	ドライバー異常時対応システム	① 有	② 無	側方衝突警報装置	① 有	2 無							
	許可等の必要性	制限外許可	① 有	② 無	特殊車両通行許可	① 有	② 無	保安基準の緩和	① 有	② 無							
	許可等の取得状況	制限外許可	① 有	② 無	特殊車両通行許可	① 有	② 無	保安基準の緩和	① 有	② 無							
	貨物の内容	1 土砂等	② 長大物品等	3 コンテナ	4 生コンクリート	5 危険物等	6 冷凍、冷蔵品	7 原木、製材	8 引越	9 その他							
	積載の有無	① 有	② 無														
	種類	1 危険物	2 火薬類	3 高压ガス	4 核	5 RI	6 毒劇物	7 可燃物									
道路等の状況	種類	① 道路(高速自動車)	② 2は、構内、営業所内等、一般交通の用に供しない場所の場合														
	☆道路の幅員	④	7.0 m														
	こう配	① 平たん	2 上り	3 下り													
	道路の形態	① 直線	2 右曲り	3 左曲り	④ 交差	5 つづら折											
	路面の状態	1 乾	② 湿	3 積雪	4 氷結												
	警戒標識の設置	② 無	⑤	☆当該道路の制限速度	60 km/h												
	踏切の状態	1 遮断機付き	2 警報機付き	3 その他													
	☆当時の運行計画	(発地・経由地・着地) 〇〇営業所～神奈川県〇〇市(〇〇建設) 発6:40 着7:00 発9:00 増玉県〇〇市(〇〇建設) 着12:00 発14:00															
	☆運送契約の相手方の氏名又は名称、住所等(貸切旅客のみ)																
	☆運送契約の相手方の氏名又は名称、住所等(貸切旅客のみ)																
営業所及び運行等の状況	安全性優良事業所の認定(貨物のみ)	1 有	② 無														
	運送形態	1 下請運送	② その他														
	☆荷主の氏名又は名称及び住所	(株)〇〇建材 神奈川県〇〇市△△1-2-3															
	☆荷主の氏名又は名称及び住所	□〇建設(株) 埼玉県〇〇市〇〇4-5															
	☆発地、(経由地)、着地及び予定時間を記入する																
	☆貸切旅客の場合のみ記入																
	原則、医師の診断結果に基づき判断すること																
	☆運行管理者等																
	氏名	〇〇 〇〇															
	運行管理者資格者証番号	〇〇 〇〇															

運転状況	☆危険認知時の速度	70 km/h	
	☆危険認知時の距離	20 m	
	☆スリップ距離	5 m	
	当該自動車の事故時の走行等の態様	1 直進(加速) 2 直進(減速) 3 直進(定速) 4 後退 5 追越 6 右折 7 左折 8 駐車 9 停車 10 転回 11 合流 12 その他	
	道路上での事故の場合には事故発生地点	1 車道 2 歩道 3 横断歩道 4 路側帯 5 路肩 6 差路 7 バス停留所 8 トンネル 9 その他	
	死傷事故の場合には死傷者の状態	1 左側通行 2 右側通行 3 信号無視 4 車線変更 5 歩道通行 6 横断歩道 7 車の直前横断 8 斜横断 9 飛び出し 10 路側帯 11 路上作業 12 路上遊戯 13 降車中 14 安全地帯 15 自転車運転 16 その他	
	車内の故障に起因する場合には故障箇所	1 原動機(速度抑制装置を除く) 2 速度抑制装置 3 動力伝達装置 4 車輪(タイヤを除く) 5 タイヤ 6 車軸 7 操縦装置 8 制動装置 9 緩衝装置 10 燃料装置 11 電気装置 12 車体及び車体 13 連結装置 14 乗車装置 15 物品積載装置 16 窓ガラス 17 騒音防止装置 18 ばい煙等の発散防止装置 19 灯火装置及び指示装置 20 反射器 21 警音器 22 視野を確保する装置(後写鏡、窓拭き器等) 23 計器(速度計、走行距離計等) 24 消火器 25 内圧容器及びその附属装置 26 自動運行装置 27 運行記録計 28 その他	
	☆氏名	〇〇 〇〇	
	☆年齢	64 才	
	乗員	☆経験年数	12 年
自動車の運転を職業とする者については勤務状況		本務・臨時の別 1 本務 2 臨時 ☆事故日以前1ヶ月間に出勤しなかった日数 5 日 ☆乗務開始から事故発生までの乗務時間及び乗務距離 08:30時間 550 km ☆最近出勤しなかった日から事故日までの勤務日数及び乗務距離 4 日 2000 km	
損害の程度		1 死亡 2 重傷 3 軽傷	
シートベルトの着用状況		① 着用 2 非着用 3 非装備	
☆交替運転者の配置		1 有(交替後の乗務時間及び乗務距離) 時間 km	
☆アルコール依存症のスクリーニング検査の受診状況		1 有 2 無(最近の受診年月日) 年 月 日	
☆飲酒の時点及びその飲酒量		1 運行前(飲酒量) 2 運行中	
☆過去3年間の事故の状況		(過去3年間の事故件数) 1 件(最近の事故年月日) R4年1月3日	
☆過去3年間の道路交通法の違反の状況		(過去3年間の違反件数) 2 件(最近の違反年月日) R3年8月2日	
☆過去3年間の適性診断の受診状況		① 有 2 無(最近の受診年月日) R4年5月20日(適性診断受診場所) 〇〇〇 〇〇支所	
☆最近の健康診断の受診年月日	(最近の受診年月日) R4年5月20日		
特定自動車運行保安員	☆氏名	〇〇 〇〇	
	☆年齢	64 才	
	☆経験年数	12 年	1 月
	本務・臨時の別	1 本務 2 臨時	
	損害の程度	1 死亡 2 重傷 3 軽傷	
	業務場所の別	1 車両内 2 車両外	
	シートベルトの着用状況	1 着用 2 非着用 3 非装備	
	☆最近の健康診断の受診年月日	(最近の受診年月日) 年 月 日	
	本務・臨時の別	1 本務 2 臨時	
	シートベルトの着用状況	1 着用 2 非着用 3 非装備	
運行管理者等	氏名	〇〇 〇〇	
	運行管理者資格者証番号	〇〇 〇〇	
	貨物軽自動車安全管理者講習修了番号	関神貨物第0000号	関神第000号
	◆死亡	0 人(うち乗客 人)	
	◆重傷	1 人(うち乗客 人)	
	◆軽傷	1 人(うち乗客 人)	
	☆損害の程度		
	運行管理者		
	統括管理者		
	補助管理者		

※健康起因の事故の場合は、別表2の調査事項を調査し、提出すること。
※車両故障により運行を中止した場合は、別表3の調査事項を調査し、提出すること。
※脱輪事故の場合は、車輪脱落事故等調査票の事項を調査し、提出すること。
※コンテナ積載車両の横転事故の場合は、コンテナ調査票の事項を調査し、提出すること。